



田布施小お米贈呈式・豪雨災害の球磨村の小・中学校へ



かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表)099-252-0600

青少年赤十字活動と 感染症対策

青少年赤十字指導者協議会
会長 中村浩一



新型コロナウイルス
症対策として
昨年度未実施

された全国一斉臨時休業は大きな衝撃でした。以来、私たちの社会生活は一変し、再び緊急事態宣言が出される事態となりました。

この一年の間、日本赤十字社では、最前線の赤十字病院で感染者の命を救う活動に取り組むだけでなく、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！負のスパイラルを断ち切るために」や「ウイルスの次にやってくるもの」というガイドや動画を作成し、感染症だけでなく不安や恐怖に負けないための大切なことを示してくれました。これらの資料は文部科学省の指導資料でも紹介されるなど、多くの学校で活用されています。

さて、本県における今年度の青少年赤十字活動は、感染症の拡大

青少年赤十字

実践目標
健康・安全・奉仕・国際理解・親善
態度目標
気づき、考え、実行する

に伴いリーダーシップ・トレーニング・センターなどの中止を余儀なくされ、青少年赤十字指導者講習会のみ開催に留まっているところですが、今後予断を許さない状況が続きますが、それぞれの園・学校におきましては、感染症対策を徹底する中で日常的な青少年赤十字活動を積み重ねていただければ幸いです。今後とも御協力の程よろしくお願いいたします。

青少年赤十字指導者 協議会の皆様へ

日本赤十字社鹿児島県支部
事務局長 古 蘭 宏 明



昨年四月の
事務局長就任
以来、はや一年
が経とうとし

ています。この間、全世界的に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、この一年はまさに「新型コロナウイルスに翻弄された」一年でした。学校等におかれても、例年とは相当異なる一年になったのではないかと思います。一日も早

い収束を願うばかりです。

さて、青少年赤十字指導者協議会の皆様に御尽力いただいた青少年赤十字活動は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、「気づき」「考え」「実行する」という態度目標の下に様々な活動を学校教育の中で展開するものであり、子どもたちの健全な「こころ」の育成に極めて重要な役割を果たしているものと考えています。

私自身、二十五年程前に県庁で「青少年の健全育成」という業務に携わりましたが、当時も教育委員会や学校の先生方と連携して様々な事業や活動を実施しました。いつの時代も児童・生徒を取り巻く様々な主体が力を合わせて子どもたちを育てていくことは、極めて大事なことだと思えます。

今後とも、学校現場、地域、日本が一体となって、青少年赤十字活動の更なる活性化を図り、世界の平和と人類の福祉に貢献するよう青少年を育成するため、引き続き、指導者協議会の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

各学校の

JRC活動の 取り組み



徳之島町立母間小学校

ボランティア精神を引き継ぐ

母間少年少女消防クラブは、一九九五年に発足した徳之島唯一の消防クラブである。当時は、高学年のみが所属していたが、今では、三年生になるとクラブ員として活動している。

毎年五月に結団式を行い、町消防組合の消防長から一年間の活動の任命証をいただく。ボランティアに向けた心構えと活動の始まりである。

任命証を受けた後、早速、学校近くの海岸にある漂着物の回収作業から活動を開始する。秋は、運動会で消防クラブの規律訓練の成果発表。今年も新型コロナウイルス感染症防止のため中止としたが、毎年冬は地域の消防団員と連携し、消防自動車と一緒に乗り込んで「火の用心」と呼びかけながら年末火災予防警戒に取り組んでいる。



消防クラブの制服を着て活動する先輩の姿は、低学年の憧れだが、日頃の学校での縦割りの清掃活動や朝の学校周辺のボランティア清掃、歳末助け合い運動の取組などを通して制服のみならず学校をリ

ドする中、高学年の言動に倣い、思いやり、助け合いの心が育っている。
これからも継続した取組を進めていくことで児童が気づき、自ら動き、手を差し伸べる心が引き続き育成されることを願う。

阿久根市立阿久根小学校

阿久根小学校では、ボランティア活動を主に二つ行っています。一つ目は、朝の清掃活動です。六年生を中心に、玄関や靴箱、渡り廊下などを掃除し、学校をきれいにしています。夏は暑く、冬は寒い中での活動ですが、美しい学校を保つために、やりがいを感じながら活動しています。下級生も、そんな上級生の姿に憧れ、自分が上級生になったときには率先して活動するというよい伝統となっています。おかげで、学校はいつもピカピカで気持ちがいいです。

二つ目は、運営委員会によるあいさつ運動です。毎朝正門に立って、元気なあいさつを行っています。一日の始まりに元気なあいさつをすることで、気持ちのよいスタートを切ることができます。学校全体で元気にあいさつをすることができるよう、あいさつカードという取り組みも行っています。これは、あいさつをしつかりできたら



運営委員会がスタンプを押し、一週間すべて押せたら、給食時間の放送で名前が紹介されるといふものです。このような運営委員会の取り組みによって、あいさつへの意識が高まり、自分から気持ちのよいあいさつをすることができ、子供が増えています。これから学校をより良

鹿児島市立皇徳寺小学校

くするために、自分たちにできることを考え、実行していく阿久根小学校を作っていければと思います。

平成二十八年に「青少年赤十字加盟登録校」となったのを機に、親善委員会を設置。ユニセフや赤い羽根共同募金などの募金活動を始め、様々な活動に取り組んできました。「掃除時間にゴミを捨てに行く時間がない。」「水道場の掃除が行き届かない。」との相談を受け、委員会で話し合い、毎週水・金を、全教室のゴミ回収と廃棄。火・木は、水道場の掃除の日と決め活動を行っています。また、一昨年から「書き損じハガキ回収キャンペーン」の取り組みも始めました。その中で、カンボジアの学校より現地の高校生を招いて現状をお聞きする機会にも恵まれ、継続した活動になっています。

さらに、全校児童が「青少年赤十字」の一員として、「気づき・考え・実行する」の実践目標を達成するための活動も行っています。特に、高学年を中心とした朝のボランティア活動では、校内や敷地外の清掃活動や挨拶運動を行い、地域の方からも「毎日、よく頑張っていますね」と、声をかけて頂くようになりました。低・中学年



においては、休み時間の後に草取り五本行う「一活五本運動」を行っています。全面芝生の校庭や学級園・学校園がいつも美しく保たれています。
このように一人一人の主體的な取り組みをモットーに、充実した活動を展開していきます。

■ 鹿児島市立武小学校

● JRC活動での取り組み

私たち武小学校のJRC活動は、日頃からアルミ缶やペットボトルのキャップなどを集めています。毎朝、子供たちが家庭で集めたたくさんアルミ缶を持ってくる姿が見られます。これは、日頃からJRCの一員としての自覚があるからではないでしょうか。また、このアルミ缶やペットボトルがどのように変わっていくのかわからないからこそ、積極的に活動に取り組むことができているのではないかと思います。このように集められたものを生かして社会福祉協議会の方や福祉施設へ車いすを贈呈しています。子供たちも、自分たちが集めたものが誰かの役に立っているのではないかと知る良いきっかけになっているのではないのでしょうか。

また、日頃からJRC委員会が主体となって募金の呼びかけやボランティア活動を推進する取り組みも行っていきます。朝のボランティア活動では、日頃自分たちが使っている校舎の清掃や校庭の草取り、トイレ掃除など、綺麗な学校を保てるように毎朝取り組んでいます。さらには、毎学期に行われる「クリーンアップ大作戦」では、地域の



公園や道路に行き、その場所を清掃するという活動も行っています。このような活動をこれからも続けていこうと思います。

■ 鹿児島市立田上小学校

● 朝のボランティア活動

本校では、朝七時五十分から八時五十分の十五分間に、高学年児童を中心に学校の校庭や中庭、体育館周辺の清掃に取り組んだり、学年間や一人一鉢の草抜きや水やりなどに取り組んだりしています。自分たちの学校をきれいにすることへの喜びやボランティアに対するやりがいを感じる事ができるように、教員一体となって活動に励んでいます。今後もボランティアの輪を広げながら、よりよい学校づくりにつなげていきます。

● 縦割り班掃除

本校では、「心みがきそうじ」を合言葉に「縦割り班掃除」に取り組んでいます。上級生が下級生の手本となるように行動し、異学年の友達とも協力しながら一生懸命掃除に取り組んでいます。また、毎週火曜日は無言清掃



強調日、毎週木曜日はトイレ掃除強調日として設定され、その日は、いつもより意識を高めた姿勢が見られています。掃除後は、各場所のリーダーが中心となって反省を行うことで、より一層清掃活動が充実することを目指しています。

■ 鹿児島市立福平小学校

本校では、「よりよい社会づくりのために主体的に生きていくことができる子ども」を目指し、主に三つのボランティア活動に取り組んでいます。

一つ目は、「ボランティア活動の日」の取り組みです。本校では、毎月八日をボランティア活動推進の日に設定しています。JRCバッジを付け、いつも以上に優しい気持ちで友達に接したり、落ちているごみを拾ったりなど、進んでよいことをしようと一人一人が心がけ、行動しています。二つ目は、六年生を中心とした朝の清掃活動です。毎朝七時五十分から八時五十分までの十五分間、校庭や学校周辺の歩道の落ち葉を集めています。自分も周りの人も気持ちよく過ごせるように、活動に取り組んでいます。三つ目は、ボランティア委員会が行っているテトラパック回収です。本校では今年度から、PTAの方々と協力し、テトラパックマークの付いた紙容器を回収していきます。普段何気なく捨てているものを集めて送ることで、自分も困っている人々も明るく過ごせることを学んでいます。



このような活動を通して、自主的に友達や学校、周りの人のために行動することのよさを体得しています。今後も、進んでよいことをしようと自分にできることを考え、自分のよさを発揮しながら周りの人と明るく過ごせるよう、全校児童でボランティア活動に取り組んでいきます。

■ 鹿児島市立山下小学校

● **朝のあいさつ運動** 総務委員会と高学年が中心となり、校門前で、登校する子どもたちや地域の方々にあいさつをしています。相手が気持ちよくなるあいさつをするための合言葉「あ(相手の目を見て)な(名前を呼んで)た(立ち止まって)す(進んで誰にでも)き(きちんと)と(敬礼を)」を目標に、声を掛け合って取り組んでいます。

● **自主清掃** 登校後に全校児童で校舎内、校庭、学校周りを清掃し、片付けまでしっかり行うことを心掛けています。特に高学年は、学校外の落ち葉やごみ拾いをするだけでなく、来校者や地域の方にあいさつをしながら取り組んでいます。

● **花いっぱい運動** 朝の活動にグリーンタイムを設定し、栽培委員会が中心となって、学級園や一人一鉢の花がきれいに彩るように全校で栽培活動に取り組んでいます。特に、「草十木運動」として、雑草を抜く活動に年間を通して各学級で取り組んでいます。

● プルタブ・キャップ回収

ボランティア委員会



が意欲的に学校に持つて来ることができるよう工夫し、取り組んでいます。今年度は、回収ボックスを新しく作り、現在の収集量を確認できる重さチェック欄をかき足したり、給食時間に放送で呼び掛けたりすることで、収集量の増加に努めています。

■ 薩摩川内市立平佐東小学校

本校は全校児童二十五名の極小規模校です。「あつたかサン」とは、校訓・四つの教えの「明るく」、「強く」、「正しく」、「考える」の頭文字をとったもので、「サン」は太陽の子を表します。

「あつたかサン」のボランティア活動の中で、年間を通して取り組んでいるのは「朝のボランティア活動」です。週に二回、始業前に学級園や校庭の草取り、正門まわりの落ち葉集めなどに自主的に取り組んでいます。そのほか、年間を通してエコキャップの回収活動もしています。たくさん回収するため、地域にも呼びかけています。また、赤い羽共同募金活動や書き損じ葉書の回収活動にも取り組んでいます。

年二回、一人一プランター栽培活動もしています。今年の春はマリーゴールドとサルビアを植えました。秋はパインジーとノースポールを植えました。

毎年、十一月の県民週間に地域の高齢者の方々を招き、一緒に餅つき体験をしています。今年は残念ながら、新型コロナウイルス感

染防止対策のため中止になりました。



毎年、これらのボランティア活動に取り組んでいます。これからも少ない人数ですが、少ない人数だからできる「あつたかサン」のボランティア活動を続けていきたいと思えます。

■ 志布志市立田ノ浦小学校

田之浦小学校は、毎年鹿児島県青少年赤十字に加盟しています。四月には「JRC登録式」を行い、新生児にワッペンを贈呈し、署名、理念の説明などを行います。

月に一回、朝の活動として「JRC委員会」を設定しています。その中で、児童が事前に話し合い、計画したボランティア活動を行います。活動の際には全員がワッペンを付け、意識の高揚を図っています。その他にも、地域高齢者とのふれあい、清掃活動、募金活動など、様々な場面で活動を行っています。



鹿児島県立中種子養護学校

中種子養護学校高等部では、口頃の授業で、清掃についてたくさんのことを学んでいます。例えば、机上清掃ではタオルの絞り方や持ち方、清潔かつ効率的な机の拭き方などを、ほうきを使った清掃ではほうきの持ち方や掃き方などを学び、身に付けようと、努力しています。

「種子島こりくな」などの外部施設の清掃では、今まで自分たちが学んできたことを生かそうと、友達と話し合ったり先生にアドバイスをもらったりしながら、清掃に取り組みます。初めて「種子島こりくな」の清掃をしたときには、掃除をしなければならない範囲が広く、とても大変でした。でも、「この施設を利用する人が気持ちよく使えるようにしたい」と思いながら、隅々まできれいになるように、ゴミが一つも残らないように、心をこめて清掃しました。掃除をしていた部屋がきれいになると、自分もすがすがしい気持ちになりました。



今年は感染症の影響で、予定していた行事がなくなったり縮小されたりすることが多かったですが、校外の清掃の機会もありませんでした。来年はどうなるかわかりませんが、清掃の機会があったら一生懸命頑張りたいと思います。そして、卒業して社会人になったときにも、自分から積極的にボランティア活動に参加したいと思います。(高等部生徒作文)

出水市立出水中学校

出水中学校では、ボランティア活動として主に次のようなことを行っています。まず、ペットボトルキャップ回収です。生徒会を中心に地域にも呼びかけ、今年度の八月末日までに十七万二千六百八個を回収し薩摩川内市の誠建設へ運搬しました。このペットボトルキャップは六次感染症のワクチン等を提供する支援活動に使用されます。また、陸上部の生徒は朝七時頃より中学校東門周辺の落葉拾いや清掃活動を毎日行っています。そして、今年七月に発生した熊本豪雨災害に際して、義援金活動を行い、芦北・津奈木町の各教育委員会へ寄付をさせていただきました。

JRC活動としては、主に次のようなことを行っています。本中学校では「あいさつで咲かせよう笑顔の華」をスローガンに、毎朝各学年の各クラスが輪番であいさつ運動を行っています。定期的にPTAにも参加していただき、学校全体で積極的に取り組んでいます。また、生徒



会を中心に職員室や会議室周辺を「サイレントゾーン」と設定し、静と動のけじめをつけるようになっています。そして、生徒会を中心に先手を呼びかけ、自ら進んで礼節に取り組みをしています。

鹿屋市立第一鹿屋中学校

「目標点数を学校全体に大きく示し、皆が日常的にベルマークを集め、さり気なく収集箱に入れる。」これは、文化部がつくりたいボランティアへの姿勢だ。

一年生の時、文化部の副部長としてベルマークの収集作業に関わり、今年は部長になった。そのとき私は、冒頭に書いた姿勢を文化部として、自分の母校に根付かせたいと強く思った。

その為の取り組みが、週二回の呼びかけと工夫ある収集箱の作製、ポスターの掲示である。週一回だった呼びかけが、週二回に増え、工夫ある収集箱を作るようになったのは、身近にベルマークがあってほしいと文化部が考えたからだ。一点〜二点程度のわずかな一枚を持ちより、何万点もの点数の一部を作り、それが自分の通う学校のための商品を買うことに役立つ。人の日常的な姿勢で直接的に大きな学校を動かす力をもてる。ベルマーク収集



は、「夢」が広がる活動であると考え。なぜなら、集めることに意味があるのではなく、一人一人が役立てることに気付き、集めることに意味があるからだ。

このベルマーク収集の活動で、ボランティアへの姿勢をつくり、日常的な学校生活で「小さな」人でも役立てる「気付きを生かせるように心のこもった取り組みを展開していきたいと思う。

鹿児島市立松元中学校

「出張マイホーキ隊」

松元中学校では、令和元年度から青少年赤十字に加盟して二年目を迎えています。これまでも生徒会を中心に、あいさつ運動やボランティア活動、募金活動などに取り組んできましたので、青少年赤十字の態度目標を生かして活動を更に充実させるのではないかと考え加盟しました。

本校では伝統的に生徒会役員を中心とした「マイホーキ隊」を組織し、朝のボランティア活動で校内清掃を行っています。また、平成二十九年度から「出張マイホーキ隊」として活動の輪を地域にまで広げています。「出張マイホーキ隊」では、ほとんどの部活動の協力を得て、自分たちがよく使う通学路のガードレールや、日頃お世話になっている薩摩松元駅の清掃などを行っています。例年二回ほど実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響で、七月と十二月の二回実施にな



りました。

薩摩松元駅は無入駅ということもあり、清潔とは言えない状態にありましたが、「出張マイホーキ隊」で清掃するようになってから徐々にきれいになっていきました。使用者の方からも「きれいになった」などの反響があり、「出張マイホーキ隊」の活動は着実に地域にまで広がりを見せています。これからも地域の方々に喜ばれる活動を心がけていきたいと思っています。

ほびあこども保育園

保育の仕事は心の種まき

福元 浩子

「えんちようせんせいにわたして下さい。」
「四歳児から手渡された紙には『えんちようせんせい、ずっとおやすみでさびしいです』はやくよくなつてね」
「たどたどしい覚えたばかりの文字と思わずくすくすとするような絵が並んでいました。腰を痛めて二か月近く入院していた園長宛の手紙でした。

大人の誰が言ったわけでもなく、絵かき遊びをしている時に、ふとした会話から手紙を書きだしたとのこと：『誰かのために』私はあなたのことを応援しています』生まれて四〜五年の子どもたちにそんな気持ちの芽生えがあるって何て素敵なんだろう！

ここ数年、子どもたち手作りのサンタバッグにお菓子を入れて被災地の仮設住宅へ届けています。いつになく



丁寧言葉を選びながら真剣に、また楽しそうに絵や手紙をかく子どもたち。その後送られてくる写真には自分たちの作ったサンタバッグを持っておじいちゃんやおばあちゃんに嬉しそうに微笑んでいます。何とも嬉しそうなお表情で写真を覗き込む子どもたちの心にはどんな思いが芽生えているのだろうか、とドキドキします。

自己と他者を学ぶこの大切な時期だからこそ、今後も「気づき 考え 実行する」を意識した保育を進め、色々な心の種を蒔いていければと思います。



ありがとうございます子どもたちに買ったよーって伝えてね♡って笑顔いっぱいで大喜びでした！



ご家族で何人もお楽しみ「あひがとつ」を買われて！助けてもらったおかげでみんな笑顔に！

加盟校(園)数 (3月1日現在)

| | |
|------------------|----------|
| 保育園(32) | 幼稚園(32) |
| 小学校(297) | 中学校(124) |
| 小・中一貫校(3) | 高等学校(23) |
| 特別支援学校(4) | |
| 計 512校(園) | |

★令和2年度新規加盟校(園)★

【小学校】
西伊敷、吉田、勝目、立神、平佐西、塚脇、星原、池池、喜念 (9校)

【中学校】 宇都 (1校)

以上 計10校(園)